

企業・団体名	新日鐵住金株式会社		
プログラム名	環境・ものづくり教育支援		
ジャンル (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 環境教育 (ESD を含む) <input checked="" type="checkbox"/> 理科教育 (理科実験・科学技術体験) <input type="checkbox"/> キャリア・職業教育 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 消費者教育 <input type="checkbox"/> 金融・保険・経済教育 <input type="checkbox"/> 英語教育 <input type="checkbox"/> 運動・スポーツ <input type="checkbox"/> 地域理解 <input type="checkbox"/> 国際理解 <input type="checkbox"/> 礼儀・道徳 <input type="checkbox"/> 福祉・医療・介護 <input type="checkbox"/> 生活指導・家庭 <input type="checkbox"/> 交通安全 <input type="checkbox"/> その他 【 】		
対象学年 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 小学校 【小学校4】学年～【小学校6】学年 <input checked="" type="checkbox"/> 中学校 【中学校1】学年～【中学校3】学年 <input checked="" type="checkbox"/> 高等学校 【高等学校1】学年～【高等学校3】学年 <input type="checkbox"/> 大学・大学院 <input type="checkbox"/> その他 【 】		
目的・テーマ	製鉄所周辺地域や首都圏の学校での、環境・ものづくり教育支援		
内容 (200字以内)	<p>新日鐵住金では、ものづくりの大切さや鉄鋼業の環境保全への取り組みなどを幅広く理解して頂くため、子供たちや学生とその教育に携わる教員や関連団体の皆さまと積極的に交流し、環境・ものづくり教育分野で地域に根差した社会貢献活動を展開しています。</p> <p>【実施例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の民間企業研修受入れ (茨城県・鹿島製鉄所、愛知県・名古屋製鉄所) ・理科実験の出張授業 (大分県・大分製鉄所) ・市民祭りと連携した理科実験教室 (千葉県・君津製鉄所) ・スチール缶リサイクルや環境教育の出張授業 (福岡県・八幡製鉄所) ・構内に生息する生き物観察会 (兵庫県・尼崎製造所) ・エネルギー環境ワークショップへの講師派遣 (本社・研究所) 		
プログラム URL			
会社・団体 URL	http://www.nssmc.com/		
特色 (60字以内)	新日鐵住金の全国の製鉄所のエンジニアや研究者が中心となり、体験型の取り組みを行っています。		
対応する教科	理科	科	学習指導要領 該当部分
対象人数	要相談	人程度	所要時間(コマ) 多様 分 ()
費用	要相談	円/人	要相談 円/クラス
必要機材	<input type="checkbox"/> 企業側で準備するもの 【実験や講義に必要な材料。製鉄所で実施する場合は受け入れ体制。】 <input type="checkbox"/> 学校側で準備・提供するもの 【出張授業の場合、簡単な装置を設置できる場所など】		
対象地域	<input checked="" type="radio"/> 全国で開催 <input checked="" type="radio"/> 特定の地域で開催 【製鉄所近郊、首都圏】		

所員が構内で捕獲したメダカや昆虫を展示した



尼崎

の手でもう一度自然をよみがえらせ、緑あふれる元気な街にしようという運動の一環として行われ、尼崎市にある企業や団体が参加している。同所では10月4日、「尼崎製造所に生息する生き物を観察しよう」をテーマに、所内に生息するメダカや昆虫を捕獲・展示し、近隣の小中学生が多数訪れた。

構内に生息する
生き物観察会

尼崎製造所は、「尼崎21世紀の森づくり協議会」などが主催している「エコキッズメッセ」に毎年参加している。このイベントは尼崎市の臨海地域において、地域住民

液体窒素に花や葉、バナナ、風船、マシュマロなどを浸してどうなるか実験した



大分

科学の面白さを知る
出前授業

大分製鉄所では、近隣の小学校で社員が理科実験を行う出張授業を実施している。実験を通じて子どもたちに驚きや感動を与え、科学に興味を持ってもらい科学の心を養うという目的で、2007年より、小学校と連携して開催。同所係長、OB、スタッフが小学校の体育館にブースを設けて、実験を行っている。今年も液体窒素にさまざまな物を浸してどうなるかを見る、果物の酸でオルゴールを鳴らす、ドライアイスとシャボン玉を使って気体の重さの違いでシャボン玉を浮かべるなど、工夫を凝らした実験を行い、参加した子どもたちが驚きの声を上げていた。

全国で、世界で、
次世代を担う
若者とともに

① (国内編)

当社では、子どもたちや学生の育成支援や教員の活動支援を目的に、さまざまな取り組みを行っています。

2014年の活動の一端を2回に分けて紹介します。



広畑



中学柔道大会では「一本!」の音が響いた

緑の町スポーツ大会

広畑製鉄所は8月24日、地域の皆さんがスポーツを通じて交流を深める「緑の町スポーツ大会」を開催した。同大会は広畑製鉄所が毎年主催し、近隣の子ども会、自治会、スポーツ推進委員、婦人部、老人会および中学校から約2000人が参加。子ども会ソフトボール大会やバレーボール大会、グラウンドゴルフ大会、女性バレーボール大会、中学校軟式野球大会や柔道・剣道大会など多種多様な競技で、例年大変な盛り上がりを見せている。当日はあわせて同所熱延工場見学会も行い、参加した皆さんが真っ赤な鉄に歓声を上げた。



開会式では少年球児たちが緊張に引き締まった表情を見せた

直江津

幼年野球大会

直江津製造所は、直江津市の少年野球チームに所属する球児の健全育成を目的に、21年前から「新日鉄住金杯幼年野球大会」を開催している。本年は4月20、27日の2日間、約300人の球児が参加して熱い戦いを繰り広げ、優勝チームに櫻井総務室長がカップを贈呈した。



人材育成センターで新種目の「吹き矢大会」を実施

鹿島・名古屋

教員の企業研修を受け入れ



鹿島・名古屋両所で、学校現場でも役に立つ危険体感研修を行った

当社は、(一財)経済広報センター主催の「教員の民間企業研修」を毎年受け入れている。本年は8月に鹿島(鹿島人材育成センター)を含む・名古屋製鉄所でそれぞれ2日間の研修を実施。鹿島では東京都私学財団の教職員4人、名古屋では名古屋市の小学校教員9人が工場見学や鉄つくりの勉強会、危険体感研修を受けた。参加教員からは、「鉄は身近にあるが、そのつくり方まで子どもたちに教えることができなかつたので、鉄を知るとも良い機会になった」などの感想が寄せられた。

また名古屋では、東海市の小中学校教員研修も受け入れている。これは教員の世代交代に対処できるミドルリーダーの育成を目的に、企業におけるつくりやものづくりの理念を学ぶという東海市教育委員会の要請に応えている。



東海市の教員がものづくり体験で文鎮を制作した

本社・技開



プラスチックから油や水素などのガスを生かせる実験を行った

エネルギー環境学習

環境部と技開・環境基盤研究部は、神奈川県川崎市立枳形中学校の「エネルギー環境学習講座」に2005年から参加している。同中学校ではエネルギー・環境問題への取り組みに力を入れており、体験的な学習を通して関心を高め、各自がどのような活動ができるか考える機会とする狙いで、企業・団体の支援のもと勉強会を開いている。

11月28日、当社は「プラスチックのリサイクルで燃料電池車を走らせよう」というテーマで授業を実施。ペットボトルを細かく切つて実験装置に入れて、油や水素などのガスが発生する様子を観察し、さらに水素ポンプを用いて生徒が実際に燃料電池車を走らせた。

おもしろ理科ワールド

君津製鉄所では、君津市民ふれあい祭りの行事の一環として「おもしろ理科ワールド」を開催している。同企画は小学生の理科離れという問題に着目して、2010年からスタートした独自の取り組みで、入社3年目のスタッフ系社員が、理科実験を行った「理科屋台」を開いている(2012年から若手研修として位置づけられ、地域貢献と若手育成を両立する活動として継続)。

若手社員が鉄に関するテーマをはじめ、子どもたちが理科に興味を示してもらえるテーマを選び、約半年かけて試行錯誤を繰り返しながら準備を進める。こうした若手の奮闘の甲斐もあり、リピーターも増えて地域に根差した活動に進化を遂げている。

君津



若手社員が自ら企画した実験を子どもたちに見せている

八幡

スケッチ大会で「アートギャラリー賞」を受賞した小中学生の作品



「子どもスケッチ大会」「スチール缶リサイクル活動」

八幡製鉄所では、地域の皆さんに広く製鉄所を理解していただくとともに、子どもたちの美術への関心を高める目的で、「港と製鉄所子供スケッチ大会」を開催している。本年23回目を数える同大会は、6月7日に開催され、総合センターの西口緑地帯に参加者が集まり、好きな場所やものを描いた。絵画は製鉄所で審査して7月12日に表彰式を行い、8月にかけて総合センターの玄関ホールや公共施設に展示した。

また八幡では、スチール缶リサイクル活動への理解を深め、地球環境にやさしい鉄を紹介するため、2000年から北九州市内の小中学校などで子どもたちへの出張授業(通算約400回)や保護者を対象にした講演会、学校でのリサイクル活動支援を行っている。



リサイクル収益金による環境教育の一環で、小中学校での植樹を支援している